

地域の特色を生かした教育活動

多くの学校で地域の特色を生かした教育活動が実施されています。地域の自然や歴史、文化、人材、産業などを教育資源として活用することで、子供たちに、地域に関心と誇りを持ち、地域社会の一員として主体的に関わる力を育むことが目的です。

6月12日（木）に佐賀市立大詫間小学校では、有明海漁協大詫間支所青年部の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、海苔の生産の様子や有明海に関する授業が行われました。その様子を紹介します。

①海苔や有明海について

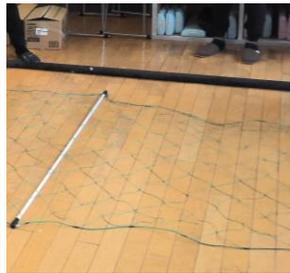
青年部の方から海苔の生産の様子や有明海の生き物などについて説明がありました。海苔が出来上がるまでの様子を動画で解説されたり、実際に使う道具を見せたりするなど工夫がいっぱいで、子供たちは興味津々でした。

②有明海の生き物に触れよう

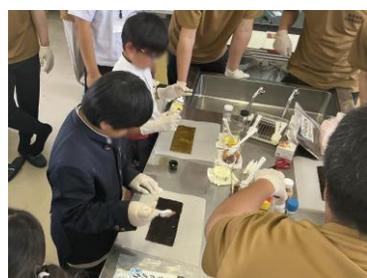
今回の授業のためにムツゴロウやシオマネキなど有明海に生息する7種類の生き物が用意されました。子供たちから「ムツゴロウはすべすべする」「本物のウナギを初めて触った」などの歓声が響いていました。

③海苔の味を比べてみよう

海苔は栄養不良などの原因で、色落ちする場合があります。今回の授業では、海苔の食べ比べや色落ちした海苔でもごま油などで味付けすると美味しく食べられることを体験できました。



〈海苔や有明海のことを学ぶ様子〉 〈海苔養殖に使う網や棒〉



〈生き物に触れる様子〉 〈味付け海苔体験の様子〉

令和7年度佐賀県教育施策実施計画

I 志と誇りを高める教育の推進

④ふるさと佐賀への誇りや愛着を持ち、佐賀のよさを語ることができる子どもを育てます。

「生徒指導力」向上研修会実施しました

6月10日（火）に東部教育事務所主催の『生徒指導力』向上研修会を佐賀総合庁舎にて行いました。今回は「発達支持的生徒指導とは」と題して講義を25分程度、いじめ対応についての演習を40分程度行いました。最後に、「保護者との連携」をテーマに情報交換を行いました。皆さん積極的に話をさせていただき、充実した研修会になりました。



グループ協議の様子

ネット・SNSの上手なつきあい方

6月19日（木）神崎市立神崎中学校で東部教育事務所指導主事による『情報モラル講話』を実施。生徒及び職員約500名を対象に「ネット・SNSの上手なつきあい方」について講義を行いました。講義の中で質問をした際は積極的に手を挙げる生徒がたくさんいて、終始、集中して参加してくれました。

【生徒の感想（一部抜粋）】

○スマートフォン・SNSの使い方を改めて見直すきっかけとなりました。自分は依存していると思ったし、平日の利用時間もとても多いと思います。だからちょっとずつ時間を減らしていきたいと思います。

○大切なことは使用時間をコントロールすることとトラブルから自分を守る、友だちを守るということだと分かりました。これからは、自分だけではなく友達も守れるような使い方を意識し、気をつけたいです。

○おもしろ半分でも、とりかえしのつかないことになるから、ネットの使い方は気をつけないといけないなと思いました。



講演の様子